



元衆議院議員

周囲にお配りいただける方募集中!

きいたかし

城井 崇レポート2017. 2~4

きいたかし後援会事務所
〒802-0072 福岡県北九州市
小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL: 093-941-7767
FAX: 093-941-5535
メール: smile@kiitaka.net

きいたかしウェブサイトは
<http://www.kiitaka.net>

国政復帰へ再挑戦

国民の「当たり前」を大切に 天下りなど脱法行為は許さない

次期衆議院選挙、福岡10区（北九州市門司区・小倉北区）の民進党公認候補予定者として「きいたかし」が、国政復帰へ向けて地域での活動に日夜奮闘しています。

皆さん、こんにちは。元衆議院議員のきいたかしです。お元気にお過ごしですか。北九州市議選では大変お世話になりました。ありがたい結果と苦しい結果の両方を受け止めながら前へ進んでいます。さて私ですが2014年末の衆議院選挙での悔しい落選から約2年数か月、「人様のお役に立つ仕事をする」との原点を胸に現在も一か所一か所地域と支援者の訪問を地道に続けています。

共謀罪等の問題が続出
通常国会の議論では問題が続出しています。共謀罪の創設をめぐることは、テロ準備の取り締まりにとどまらず一般国民への適用拡大の



北九州市議選では10名の候補の応援に東奔西走。門司区では自転車遊説も。

懸念が消えません。そればかりか法務大臣の国会質問封じの文書配布まで行われる始末です。テロ準備への対処は現在の法体制を機能させることを優先すべきです。

南スーダンの「戦闘」を隠蔽
南スーダンPKOでは現地自衛官の頑張りもむなしく、日報は廃棄され、戦闘行為があっても「9条上問題になるから武力衝突と表現」と防衛大臣が答弁。これでは意図的な隠蔽と言わざるを得ません。PKO派遣の基準にも関わる事実から逃げずに対処し、現地自衛官の安全をしっかりと確保すべきです。

天皇のご譲位は皇室典範改正で
天皇陛下のご譲位については、憲法に照らしつつ公務負担をできるだけ軽減する方向で対処すべきです。政府与党は一代限りの特例法での対応を考えていますが、これは皇室典範による皇位継承を定めた憲法2条に違反します。皇室典範改正での対応をすべきです。また陛下の公務負担軽減の観点からの女性宮家創設の議論も先送りせずここで決すべきと考えます。

(次面へ続く)

(前ページからの続き)

天下りあっせんは言語道断

明らかになった文部科学省の天下りあっせんは、OBを介した裏あっせん、組織ぐるみの脱法行為でした。民進党議員の追及で明らかになったところでは、あるOBは天下り先で「月2回勤務で1,000万円」ももらっていました。天下りの最大の問題点は、役所と天下り先が癒着して税金のムダづかい・補助金の不公平な交付、規制や取り締まりの見逃し、間違った政策の推進などです。OBを道具として使いながら実際には現職の役人が手を染める組織的な裏あっせんシス

テムを防ぐには、今回のようにOBを介したあっせんについても法律で明確に禁止する他ないと考えます。

国民の「当たり前」を大切に
こうした問題は氷山の一角ですが、単に問題の指摘に終わらせず、一つひとつ改善策の提案・対案を示しながら闘っていく姿勢を野党第一党たる民進党にも求め続けていきますし、私自身も体現してまいります。国民から見た「当たり前」を大切に、今一度お役に立てるよう、日々の活動に力いっぱい頑張ります。応援お願いいたします。

実務負担「軽」年収「高」の「キャリアポスト」の実態

2月6日
一部公表

再就職等監視委
調査報告書

2013年
9月作成

文部科学省作成
「再就職支援業務について」

また、議員氏が行う再就職あっせんに対し、直接の報酬が支払われなくても、7年間にも渡って有機的に継続して実行し続けてきたのは、議員氏に対して、**保険会社顧問**などの実務負担が軽く年収の大きな、いわゆるキャリアポストと目される再就職先などを複数あてがうことで、OBを介した再就職あっせんを今後も継続しつづかせたいという文科省人事課及び事務次官等、そして文科省幹部OBによる「承継行為」が存在した。

再就職支援業務が財団から切り離されるのであれば、意向きの事業をやっていたら、秘書給与（現状 400万程度）や執務室賃料（現状 10万程度）を文教協会を経由して業務委託費 **あっせんは裏の仕事＝違法性を認識**

・議員氏には1月に週1日程度の保険会社顧問に就任していただき、残りの4日間で再就職支援業務をボランティアベースで行う、
【保険会社顧問ポスト案】
・工藤智規(67)（第一生命保険顧問 週1日 1,000万円）
→ 工藤氏は東京経済会会長（1,000万円）への居がある
公立共済社なので理事専任に要相談
・遠藤昭彦(67)（明治安田生命顧問 月2日 1,000万円）
→ 遠藤氏の再就職先が必要

**保険会社の
天下りポストを
文科省が管理!!**

出典：再就職等監視委員会「文科科学省等再就職先に関する調査報告書」（2017年2月6日）及び文科科学省再就職等監視委員会「OBを介した再就職あっせんの実態について」（2017年2月6日）※もとより本誌「的業特所」で公表した2月7日衆議院議員会館資料を主に作成



元衆議院議員 きいたかし(城井 崇) 43歳のプロフィール

1973年（昭和48年）北九州市門司区生まれ。田野浦小、早稲中、門司高、北九州予備校（2浪）、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。05年衆院選で惜敗。政治浪人後、09年衆院選で当選（2期目）。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事、事業仕分け第3弾仕分け人等を歴任。12年、14年衆院選で惜敗、現在国政復帰を目指して地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。地元の教育・文化振興や保育園経営にも携わる日々。和太鼓歴は30年超。
得意分野：教育、科学技術、安全保障、行政改革
好きな食べ物：ラーメン 気になること：借りた奨学金を返済途中の若い世代